

# 経済産業部

## 事務事業及び予算の執行実績

政策管理局

産業革新局

就業支援局

商工業局

農業局

農地局

森林・林業局

水産・海洋局



## 経済産業部の施策等の概要

### 1 施策概要

本県経済の持続的な成長を実現するため、静岡県総合計画～しずおか ウェルビーイングプラン～に基づき、イノベーションや次世代産業の創出、地域経済を牽引する企業の成長促進や中小企業の経営力向上、DXの推進や産業人材の確保・育成、農林水産業の競争力強化や担い手確保などに取り組んだ。

#### 【政策目標】

イノベーションの創出と次世代産業の振興  
県内中小企業の競争力強化と成長支援  
産業人材の確保・育成とDXの推進  
農林水産業の競争力強化と人材の確保・育成  
脱炭素社会の構築  
循環型社会の構築  
国内外との交流促進  
多様な働き方と活力ある地域の推進  
防災・減災対策の推進  
防疫対策の強化

#### (1) 未来を創る力

##### ア 産業

##### (ア) イノベーションの創出と次世代産業の振興

本県の地域経済の活性化や新たな成長産業の創出・育成を図るため、県内中小企業の課題解決や既存産業に革新をもたらす存在となり得るスタートアップに対して、ベンチャーキャピタルと連携した資金調達支援や実証実験に対する支援を行うなど、スタートアップ支援を実施した。

企業誘致については、企業立地件数日本一を目標に掲げ、トップセールスをはじめとする誘致活動を展開するとともに、県内への投資を呼び込むため、戦略的に産業団地を創出した。

また、ファルマバレー、ウェルネス、MaOIなどのプロジェクトの取組等を通じ、次世代産業分野への地域企業の参入・事業化を促進した。

##### (イ) 県内中小企業の競争力強化と成長支援

中小企業等の経営力向上や事業承継など、持続的な成長を促進するため、中小企業等の円滑な資金繰り、付加価値の増加や生産性の向上などの収益力向上に向けた新たな取組、海外展開などを支援した。

また、経営者の高齢化などによる後継者不足に対応した事業承継への支援や、県内地場産業の魅力発信と人材育成、リノベーションによる地域独自のまちづくり等を推進した。

##### (ウ) 産業人材の確保・育成とDXの推進

AI・IoTなどの高度なスキルを持った企業人材の育成等を図るため、イノベーション

拠点「SHIP」を核として、デジタル技術に関する講義や演習等を実施するなど、デジタル人材の確保・育成を推進するとともに、県立工科短期大学校等において、次世代産業分野やデジタル化に対応した在職者訓練を実施した。

また、中小企業等のAI・IoT・ロボットの導入促進やDXを支援する体制の整備等により、製造業や農林水産業など幅広い産業において、生産現場のデジタル化を推進した。

#### (エ) 農林水産業の競争力強化と人材の確保・育成

農林水産物の生産性向上や市場の拡大などを図るため、供給力拡大に向けた支援や首都圏等への販路拡大に取り組むとともに、県産品の輸出拡大に向けて、新たな海外販路の開拓に取り組むなど、世界市場を見据えた積極的な施策を展開した。

農業については、AOIプロジェクトにおいて、先端農業技術の研究開発を進め、成果の創出と生産現場への普及・展開を図り、県内農業のスマート化を推進するとともに、民間事業者等におけるビジネス展開の取組を支援した。

また、環境負荷の低減に向け、生産から消費まで一体となった推進体制による化学肥料・農薬低減技術の普及を図った。

お茶については、静岡茶再生のため、海外需要の拡大を踏まえ、世界展開を視野に入れた静岡茶統一ブランドの策定と輸出向け茶葉の生産基盤の強化を両輪で推進した。

林業については、持続可能な森林経営の実現に有効な森林認証の導入を拡大するため、認証管理団体が行う施業の集約化や認証材の供給体制の強化を一層推進した。

また、森林認証材を利用した住宅・非住宅建築物に対する支援の拡充など、県産材の利用を促進した。

水産業については、海の荒廃の進行や海洋環境の変化などが本県の水産業の継続に影響を及ぼしていることから、静岡の水産業を未来につなぐプラットフォームを立ち上げ、課題の抽出や未来志向の対応策を検討するとともに、磯焼け対策やアサリの資源回復、流沈木の撤去により、本県水産資源や沿岸漁業環境の再生を図った。

また、漁協や水産業者等が民間企業等と連携して収益を増加させる取組など、水産業者等の新たな所得機会の創出を支援した。

### イ 環境・エネルギー

#### (ア) 脱炭素化社会の構築

サプライチェーン全体での脱炭素化やエネルギーの多様化を推進するため、再生可能エネルギーの更なる導入拡大や水素エネルギーの活用を促進するとともに、中小企業が行う脱炭素化の取組を支援した。

また、吸収源対策として、森林の多面的機能の維持・増進に向けた間伐等の森林整備を推進した。

#### (イ) 循環型社会の構築

資源循環と経済成長を同時に達成する循環経済への転換を図るため、本県が全国に先駆けて取り組んでおり、リサイクル性に優れた環境に優しい素材として幅広い用途での活用が期待されるCNFについて、新たなビジネスモデルの構築の支援等を行った。

## ウ 観光・交流・インフラ

### (ア) 国内外との交流促進

本県出身の大学生や移住を希望する首都圏等の社会人などを本県に積極的に呼び込むため、本県で働く魅力等の情報発信や相談業務を実施するなど、県外に在住する若者の本県へのＵＩターン就職を支援した。

## (2) 豊かな暮らし

### ア 暮らし・文化

#### (ア) 多様な働き方と活力ある地域の推進

多くの企業において従来型の働き方を見直し、人材不足や価値観の多様化などに対応した新しい働き方の実践が求められていることから、多様な人材がその能力を最大限発揮できるよう、ダイバーシティ経営の普及を促進するとともに、ニーズに合った働きやすい環境の整備を支援した。

## (3) 県民の安心

### ア 防災・安全

#### (ア) 防災・減災対策の推進

近年多発する集中豪雨や降雨量の増加等による農地、山地災害の発生と被害の拡大を防止するため、農地防災対策や山地災害対策を推進した。

また、熱海市で発生した土石流による災害を教訓に、森林内の違法な盛土の流出防止対策を実施した。

#### (イ) 防疫対策の強化

豚熱（ＣＳＦ）や高病原性鳥インフルエンザなど、近年、国内で発生している家畜伝染病の農場における発生とまん延防止のため、関係機関と連携した防疫体制の整備や飼養豚へのワクチン接種等を推進した。また、３月に発生した豚熱では、関係機関と連携した防疫措置により迅速に封じ込めを行った。

## 2 施策体系

### 静岡県総合計画 ～しずおかウェルビーイングプラン～

目指す姿

幸福度日本一の静岡県

#### 政策体系

|        |            |                      |
|--------|------------|----------------------|
| 未来を創る力 | 産業         | イノベーションの創出と次世代産業の振興  |
|        |            | 県内中小企業の競争力強化と成長支援    |
|        |            | 産業人材の確保・育成とD Xの推進    |
|        |            | 農林水産業の競争力強化と人材の確保・育成 |
|        | 環境・エネルギー   | 脱炭素社会の構築             |
|        |            | 循環型社会の構築             |
|        | 観光・交流・インフラ | 国内外との交流促進            |
| 豊かな暮らし | 暮らし・文化     | 多様な働き方と活力ある地域の推進     |
| 県民の安心  | 防災・安全      | 防災・減災対策の推進           |
|        |            | 防疫対策の強化              |

### 3 職員の概要

(単位：人・歳)

| 区 分        | 職 員 数         |                |            | アの平均年齢 | ア の 健 康 管 理 区 分 |             |          |              |          |              |              |              |     |     |
|------------|---------------|----------------|------------|--------|-----------------|-------------|----------|--------------|----------|--------------|--------------|--------------|-----|-----|
|            | 一般職員<br><br>ア | その他職員<br><br>イ | 計<br><br>ウ |        | A<br>勤務<br>休止   | B 1         | B 2      | C 1          | C 2      | D 1          | D 2          | D 3          | 未区分 | 計   |
|            |               |                |            |        |                 | 勤務時間<br>短 縮 |          | 時 間 外<br>制 限 |          | 平常勤務         |              |              |     |     |
|            |               |                |            |        |                 | 要治療         | 要観察      | 要治療          | 要観察      | 要治療          | 要経過観察        | 医療不要         |     |     |
| 経済産業部<br>計 | 517           | 67             | 584        | 41.0   | (0)<br>0        | (1)<br>1    | (0)<br>0 | (13)<br>13   | (1)<br>1 | (114)<br>114 | (135)<br>135 | (220)<br>220 | 33  | 517 |

#### 4 組織図（令和8年度）



